

# 学校だより 芝っ子

令和6年3月13日  
松本市立芝沢小学校



## 祝 ご卒業

6日には、児童会を引き継いだ5年生の企画・運営による6年生を送る会が行われ、各学年から、6年生に感謝を伝える内容の発表がありました。いっぱい遊んでくれたお礼を込めて、「ありがとうの花」を歌った1年生。6年生にちなんだ〇×クイズで盛り上げてくれた2年生。運動会での6年生の雄姿を再現して組体操を披露した3年生。楽しかったものぐさ太郎祭りから、さすがは6年生という姿を紹介した4年生。引き継いだ児童会の委員会活動での決意を表明した5年生。お世話になった6年生への思いが伝わり会場全体が温かい気持ちになりました。また、6年生からは、卒業式で歌う



『ありがとうの木』より

『明日の空へ』の合唱発表がありました。きれいなハーモニーの中に、小学校生活の思い出を胸に、次の一步を踏み出す決意や期待が感じられ感動しました。

明日の卒業式には、5年生が児童を代表して参列します。69名の卒業生に今後の飛躍を祈念し見送りたいと思います。

## あいさつで心と心がつながる温かい学校に ～3学期終業式校長講話より～

…前略…さて、今日の校長先生のお話ですが、「じぶんたちでやろうとするきもち」というテーマでお話します。

はじめに、「6年生を送る会」を振り返ります。

今年度は全校で集まっての「送る会」になりました。それぞれの学年が「自分たちで工夫してどうしたら6年生に喜んでもらえるか」をよく考えて、行事や姉妹交流などの表現を趣向を凝らして、心のこもった発表を届けてくれました。「ありがとう」の感謝の気持ちと「頑張ってください」の応援の気持ちを6年生に届けようとする姿がよく伝わってきました。…中略…

そして6年生は、各学年の発表の姿を、大変柔らかな表情で、時には笑顔で見守っていました。最後にお返しとして全員で合唱してくれた「明日の空へ」。私は「いつまでも 忘れはしない ともに過ごした輝く日を」のところがとても好きになりました。この学校で全校の皆さんと共に過ごした6年生の思いが伝わってきました。6年生の優しく温かな歌声が体育館の中に響いていました。

全校のお手本となる素晴らしい6年生の姿、そしてそのバトンを受け取った、5年生の皆さん。素敵な会を開いてくれてありがとうございました。

次に、「清掃 おそうじ」について、振り返ります。

校長室と職員室の掃除は一年間、6年生が担当してくれました。大勢の6年生が交代でしてくれましたが、全員が、静かに集中して取り組んでいて本当にすばらしい清掃の姿でした。

校長室にそうじに来てくれる6年生に、「どうしてそんなに丁寧に集中してやってくれるの」と聞くと、「校長室だからというのはあるけど、学校に来てくれるお客さんが入る場所が校長室なので、その方々が気持ちよくなるようにそうじします」と答えてくれました。

皆さんは、この6年生の言葉を聞いてどう思いましたか？

校長先生は、とっとうれしくなりました。そして、「すごいなあ」と感心しました。

自分たちのことだけでなく、私やお客様のことを考えて、その人たちのためにもっとよくしようとできる、芝沢小学校の子ども達のが、ますます大好きになりました。

6年生だけでなく、他の学年の他の場所もみんな一生懸命やっているといます。全校の皆さん、とてもいいですよ。

児童会でも長い間、三本の柱の一つとして「清掃」が大切にされてきて、「自分たちで自分たちの学校をきれいにしよう」という気持ちと取り組みが、芝沢小学校全体に見られています。

それぞれにやり抜いた短い3学期。そして、この1年間の成長と頑張りを大切に来年度に向かいましょう。

代表で発表してくれた2名のように、きっと、「これだけはがんばった」と言えることが、3学期、またはこの一年であったことでしょう。



コロナの感染不安がある中、思うようにいかないこともいっぱいあったと思いますが、自分で決めたことや目標に向かって頑張った人は、必ず目に見えない大きな力がついていると思います。もちろん、中にはがんばったけどできなかったこともあるでしょうね。しかし、それに挑戦したことが大事です。「やろうとしたこと」「最後まで努力したこと」その気持ちを大切にしていきましょう。

さて、ここで話を少し変えますね。今年度も、何回も校長講話でお話しましたが、一昨年始まったウクライナとロシアの戦争が2年経った今でも、まだ続いています。



また、昨年にはイスラエルのガザという場所で、新たに戦乱が起こりました。争いを続け、大切な命が毎日のように奪われてしまう、考えられないようなひどいことが実際に起こっています。私はこのニュースを見るたびに、心が痛くなります。なんでこんなことが起きてしまうのでしょうか？人が相手のことを思い、助け合う「平和」な世界になってほしいです。

私は、「人が人を大切に思う気持ちがなければ、平和な世の中にしていくことはできない」と思います。皆さんには、そのためにどうすればよいかを、いつも考える人になってほしいと思います。人が悲しむことを

平気でしてしまう人になってはいけません。相手の立場に立って、今してもいいか悪いかの判断をできる人になってほしいと思います。

そして、私たちの世界を平和にしていくための第一歩は、「あいさつ」にあるのではないかと思います。もちろん、それだけで平和になるなんてことは言えませんが、「いつでも、誰にでも気持ちのよい温かいあいさつができる人」は、誰かを傷つけたり、自分だけがよければいいと思ったりしない人にはならないと思います。

お友達に、先生に、地域の人に、そして、何よりも家族同士で、誰にでもあいさつできるようにしていきましょう。

これからも、芝沢小学校を「あいさつで心と心がつながる温かい学校」にしていきたいと思います。それが、みんなが幸せで、安心できる平和な世界につながることを信じて……。 …後略…

## 今年度末で転退職する職員の紹介

勤務年数の長短はありますが、今年度末をもって7名が転任退職いたします。皆様には大変お世話になりました。

	氏名	転任退職出先
2年1組	廣田 悦子	山形村立山形小学校
あおぞら2組	大王 博子	松本市立二子小学校
あおぞら3組	高志由香里	松本市立明善小学校
少人数指導	曾根原紀子	松本市立筑摩小学校
英語専科	佐藤由美子	松本市立源池小・中山小・明善小学校(兼務)
初任研指導	木船 一実	松本市立島内小・田川小・梓川小学校(兼務)
学習習慣形成	小野 ゆり	退職

## お知らせとお願い

○春休み中、学校は土日・祝日を除いて職員がおりますので、何かありましたらご連絡ください。なお、電話・来校者への対応は8:15～16:45になりますのでご了承ください。

○4月当初の予定は前号のお便りでお知らせした通りになります。

○クラス替えのある学年(新3・5年)の学級編成については、4月2日(火)午前8時30分～午後6時の間に、東昇降口に掲示しますので、ご来校いただき、ご確認ください。

春休みは、次年度への不安や期待などから、気持ちが落ち着かない時期です。長いお休みになりますが、お子さんが、4月気持ちよくスタートできますよう、家庭・地域での過ごし方にもご配慮願います。子どもだけで過ごす時間も普段より長くなると思いますが、特にゲームやネットの使い方、金銭管理等、家庭内の約束ごとを再度ご確認ください、トラブルにならないようお願いいたします。

## “芝っ子”の笑顔

「ありがとうの木」には、卒業する6年生に在校生一人ひとりからの感謝の言葉が飾られています。「いっぱい遊んでくれてありがとう」という1年生。「音楽会の歌声がきれいでした」という2年生。「今までいろいろなことを教えてくれてありがとう」という3年生。「楽しい企画を考えてくれてありがとう」という4年生。「一年間、全校を引っ張ってきてくれてありがとう」という5年生。これらの言葉から、感じ方も発達段階に応じて順に成長していることがわかります。“自分”との関わりで考える低学年生から、次第に視野を広げ“学校の中の自分”という立ち位置で考えられる高学年生へ。

そんな子どもたちの成長を支えていただいた保護者・地域の皆様、本当にありがとうございました。

文責 安藤隆子